

題材 「宮沢賢治の世界を味わう『やまなし』」 ○○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

『やまなし』の5月の幻灯の最後の部分を読み、「こわいよ お父さん」という記述が2回出てきている点に疑問を持った子どもたちが、樺の花に対する基本的な理解をしたうえで、樺の花が流れる場面の動画を視聴し2回目の「こわいよ」が表す意味を考えることを通して、宮沢賢治の「死」に対する考えや樺の花が表していることの意味に気づき、弟のかにが「こわいよ、お父さん」と言った理由について自分なりの考えを持つ事ができ、5月の幻灯のイメージを想像することができる。

(2) 本時の学習材

「かばの花」の基本的な知識・「かばの花」が実際に流れる映像

○前時において子どもたちは、5月の幻灯の中の記述である「こわいところ」について、自分なりに解釈を深める活動を行った。それらを踏まえて5月の幻灯のまとめとなる最後の記述である「こわいよ、お父さん」に目を向ける。子どもたちは、父かにが宥めているのに「こわいよ、お父さん」といった弟のかにに対して疑問を持つだろう。そのような状況で学習材を提示する。

○本学習材は、「かばの花」の基本的な知識・「かばの花」が実際に流れる映像である。魚が「こわいところ」へ行った後に「かばの花」が流れてきたという記述があれば、子どもたちは樺の花にはどのような意味があるのかという事を考え始めるだろう。また、実際に流れている映像(花筏)を視聴することにより、何に怖がっていたのかという点が明確になる事が期待される。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時の振り返りを行う。	・「こわいところ」って、宮沢賢治が読む人に対して分かりやすいようにしたという意見が出たよね。 ・お父さんのかにが子どもたちを怖がらせないようにしたっていう考え方もあったよね。	10	・個人読み3分 ○前回の授業において考えた「こわいところ」について思い出す。 ・1つの結論のようなものは出ず、1人1人解釈が違うという部分に言及する。
展開	2 「こわいよ お父さん」と言った2つの場面を取り上げる。	・よく見たら2つ書いてあるね。 ・何でお父さんが宥めているのに、弟のかにが「こわいよ、お父さん」と言ったんだろう。	5	○「魚はこわいところへ行った」という父かにの発言を受けて、かにのきょうだいがどんな反応を見せたかという点を、1つ1つ場面を追って確認していく。 ・「魚はこわい所へ行った」→「こわいよ、お父さん」（兄）→「心配するな」→樺の花が流れてくる→「こわいよ、お父さん」（弟）
終末	3 「かばの花」についての基本的な知識を提示し、実際に川を流れる映像をスクリーンで流す。	学習問題 なぜ、弟のかには「こわいよ、お父さん」と言ったのだろう？ ・普通の桜に比べて白いんだね。文章の中にも書かれているよ。 ・綺麗だね。 ・水中から見上げていると、少し怖いかもしれないな。 ・何で弟のかにはこれを見て「こわいよ、」と言ったんだろう。	5	○「かばの花」に対しての基本的な知識を提示する。 ・文中の注釈では、「山桜の一種」と書かれているため、山桜についての基本的な情報とする。 ・「かばの花」が流れる映像（無ければ桜の花が流れる映像＝花筏）を提示する。

学習課題			学習材
「かばの花」に注目しながら、弟のかにが「こわいよ、お父さん」と言った理由を考えよう			「かばの花」の基本的な知識・「かばの花」が実際に流れる映像
4 弟のかにが「こわいよ、お父さん」と言った理由を考える。	・弟のかには、「落ちてくるもの＝かわせみ」だと思っているんじゃないかな。 ・兄のかにの真似をしているだけじゃないかな。 ・お父さんの「こわい所へ行った」という発言を受けて、自分の考える「怖いもの」を想像して怖くなったんじゃないかな。	20	・個人，周辺での追及をしたのち、全体で考えを共有する。
4 本時のまとめ、振り返りを行う	・〇〇さんの考えを聞いて、なるほどと思った。 ・自分はやはり△△だと思う。 ・5月の幻灯は死について書いてある所が多かったね。 ・12月の幻灯はどんな幻灯なんだろう。	5	・本時で自分の中で解釈が広がったこと、学んだことなどを振り返る。
			評価 ・弟のかにが「こわいよ、お父さん」と言った理由について自分なりの考えを持つ事ができる。(ノート)